

筆の里工房11月の休館日  
 11月4日・10日・17日・25日・12月1日

第7回筆の里ありがとつちのちよつと大きな絵てがみ大賞 優秀作品展

5月5日から7月7日にかけて募集した、ちよつと大きな絵てがみと絵葉書の優秀作品展。

期間 11月5日(水)~

11月30日(日)

(前期) 11月5日(水)~

11月16日(日)

(後期) 11月18日(火)~

11月30日(日)

※奨励賞は県によって前期・後期に分けて展示します。



▲ありがとう大賞 京都府 山田 利博 さん

アンパンマンと

やなせたかし展

絵本原画と詩とメルヘンの世界

多彩なキャラクターの魅力

ばかりでなく、そのストーリーにも絶大な人気を誇るアンパンマン。水彩画、原画、アニメーション作品などの作品を通じて、やなせたかし氏がアンパンマンに託した思いを紹介いたします。

期間 12月2日(火)~

2月1日(日)



◎やなせたかし

入館料

|      |      |
|------|------|
| 大    | 500円 |
| 小中高生 | 250円 |
| 幼児以下 | 無料   |

(20人以上団体は2割引)  
 ※PAL会員は無料です

第2回筆の里

「ゆめ絵てがみ」はカルタ 作品募集

「ゆめ」は誰にでもきつとあるはず。その夢を絵てがみに描いてみませんか。

がみに描いてみませんか。

テーマ ゆめ

募集期間 12月31日(水)

〔当日消印有効〕

募集作品 日常思っているゆめを5・7・5の川柳調にまとめ、「いろはにほへと」の44音の作品を募集。

※「ん」「ゐ」「ゑ」「を」は除きます。

募集規格

・筆を使用した作品で、50円で届く葉書サイズ

・住所・氏名・年齢(学年)

・電話番号を1作品ごとに記入。

※詳細については筆の里工房までお問合せください。

くまの俳壇

熊野俳句同好会

【熊野婦人俳句会】

露親し住みなれし路地掃くことも

白萩のこぼれて朝の風さやか

湯の宿の窓にはりつく秋の蝶

初盆の読経ききある幼かな

枕辺の小窓閉むるや草ひばり

羽のあるものいとはし秋の蝶

星燃えつ露の山端に消えにけり

障子越し夢の中にも虫の声

秋刀魚焼き女二人の夕餉かな

青みかん挽げば島山日暮れけり

【西公民館俳句グループ】

屋上に物干す人や秋暑し

仕舞風呂一人の音や夜の秋

極暑かな杖と医薬を離し得ず

魂迎へ暮るるに早き灯をともす

黒揚羽翔つ構へして果てにけり

山の影くづし潜れるかいつぶり

籐寝椅子眠れる夫の顔に本

欄干に子を立たせみる揚火花

青田風村の駅舎の太柱

出水禍の空に湧きたる赤とんぼ

歩み板、舟から陸へ、陸から舟へ、それだけではない。自分の行く手に架ける橋であるから架け損じは許せない。親は子に正しく架ける歩み板から外れないように渡って欲しいし、成人した子は自分に責任を持つ歩み板にしなければならぬ。

踏み外した事件、事故の多さは、自分の責任を何と思っているのでしょうか。

一人、一人が渡る歩み板の最後はどこへ向っているのでしょうか。考えるべき歩み板です。

木村 里風子

工藤 義夫

大田 文子

上野 啓子

今田 まゆみ

久保田 フクヨ

龜谷 しず恵

平山 信子

堀野 眞理子

坂本 清子

喜花 美鈴

渡辺 文

尺田 せつ

関村 光子

西村 柳子

南村 マサ子

進藤 幸美

長山 法江

別府 藤絵

木村 里風子